

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズポンド大福		公表日		2026年 2月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・訓練室、多目的室、学習室と部屋がたくさんあり、十分な広さも確保できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・子どもの利用人数に合わせて、適切に配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・出入口の階段が少し危ない為、昇降が不安な子どもは手を繋いで昇降のようにしている。	・出入口の階段に、手すり等があると安全。 ・初めての子どもや見通しの持ちにくい子どもにとっても、分かりやすい環境となるよう、工夫していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日、室内の清掃や消毒を行っており、マット等も定期的に洗濯している。 ・落ち着いて過ごせる部屋と活発に動ける部屋を分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	・必要に応じて、職員室や学習室でクールダウンを行うことがある。	・ちょっとした個別空間が手軽に作れるよう、パーティション等があると良いかもしれない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・毎朝ミーティングを行い、職員会議も定期的に行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・毎年、保護者に向けて評価表を配布し、意見を頂いている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・ミーティングや職員会議で、誰でも発言できる機会がある。 ・普段からコミュニケーションを取り、意見を発しやすい雰囲気を作っている。	・会議に参加できない職員の意見や、思いついた意見をすぐにメモできるような用紙を設置してはいるが、これまで以上に、意見を集めて改善に繋げる仕組みを作りたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	・第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・定期的に社員研修があり、外部の研修にも会社負担で参加することができる。	・職員同士でも事例の共有を行い、学びの機会を増やしていきたい。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・ホームページにて公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・アセスメントは会社独自のツールを用いて実施。 ・相談支援専門員との情報共有や保護者とのモニタリングを踏まえうえで作成している。	・アセスメントの質向上に向け、記録方法や情報共有の工夫を進めたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・アセスメント評価は児発管以外の職員も必ず行っている。また、案が出来上がった際には、担当者会議で児発管以外の職員にも見てもらい、一緒に検討している。	・アセスメント内容の事前共有や、短時間での打ち合わせの機会を増やし、複数の職員で十分に検討できる体制づくりを図りたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・全職員がすぐに見れる場所にファイリングして置いてある。 ・毎朝のミーティングでも、支援計画の読み上げを行い、支援内容を意識して支援ができるよう努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・アセスメントは会社独自のツールを用いている。また、個人記録を毎日記録し確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・子ども一人ひとりの状況、利用日数などの現状にも配慮し、実現可能な支援内容をスーパーバイズを受けながら設定している。	・職員間で確認項目を統一し、子どもごとの支援内容をより具体的に設定できるよう取り組みたい。

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・正職員全員で話し合っていて決めている。	・職員間でのアイデア共有や、短時間ミーティングをさらに充実させていきたい。 ・パート職員からもアイデアを集めていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・活動の一覧表を作成し、固定化しないようにバランスよく組み込んでいる。また、新しい活動も検討するようにしている。	・季節行事や、子どもたちのリクエストを積極的に取り入れ、プログラムの幅を広げていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・支援計画に基づいて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。	・子どもの当日の状態や興味を共有する仕組みを整え、支援計画への反映をさらに丁寧に行えるようにしたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・朝のミーティングで、その日の担当者が説明をし、活動内容や役割分担等の最終確認や、情報共有を行っている。	・担当者が事前に活動計画書を共有しているため、周知を徹底し、ミーティングの円滑な進行を図りたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・その日に気になったことは必ず共有し、その日いない職員には翌朝のミーティングで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・個人記録はその日の内に記入をし、内容の共有を行うことで支援の検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・原則として、半年に一度のモニタリングを行い、家庭での様子を伺いながら、ニーズや課題を把握している。	・得られた気づきを職員間で共有し、計画の見直しに一層反映しやすい仕組みを作りたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	・自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供はバランス良く組み込むことができている。	・地域交流の機会の提供が不十分なので、今後積極的に取り入れていきたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・一斉に集まって取り組む集団遊びだけではなく、好きなタイミングで参加できる活動も取り入れている。	・自己決定力を育てるための支援を、活動や日常の中に積極的に取り入れていきたい。 ・選択肢の提示方法や選ぶ際の言語化支援をさらに充実させたい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・主に児発管が参加し、児発管が参加できない時は、他の職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・医療ケアを必要とする子どもが現在いない為、医療機関等とは連携を行っていないが、保育所等との連携は、必要に応じて行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・必要に応じて連絡を取り、情報共有や相互理解を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・必要に応じて連絡を取り、情報共有や相互理解を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	・現在のところそのようなケースがない。	・今後、しっかり情報共有の場などを設けていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・必要に応じて連携し、助言を受けている。	・児童発達支援センターとの連携は不十分だと感じている。今後は改善し連携していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	・お出かけ先の公園等で地域の子どもの関わりが持てることはあるが、学堂や児童館等との交流はない。	・子どもの興味や特性に合わせて、地域での活動先の選択肢を広げられるようにしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		・自立支援協議会は、ほとんど機能していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	・日頃から送迎時や連絡帳、LINEを通して保護者に様子をお伝えしている。	・子どもの変化をより丁寧にお伝えできるよう、情報交換の機会や方法を充実させたい。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	・ご家族の参加できる研修の機会がない。	・相談支援は行っているが、ペアレントとレーニングは不十分だと感じている。今後は積極的に取り入れていきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に丁寧に説明を行い、質問等にも分かりやすく応じている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・原則として、半年に一度のモニタリングを行い、その際に保護者のニーズを確認している。	・意向確認の機会を増やし、より丁寧に反映できる体制を作っていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・支援計画の内容を丁寧に説明し、同意を得た上でサインを頂いている。	・保護者がより理解しやすいよう提示方法を工夫し、同意形成を丁寧に進めていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・モニタリングや送迎時、LINEでの相談にも応じている。また、必要に応じて心理士との面談の機会も作っている。	・保護者がより相談しやすい場や方法を考え、安心して悩みを話せる環境を作っていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	・開催したいとは思っているが、実現できていない。	・キッズbondグループの他教室が開催している保護者会などを参考に開催を検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・支援に直接関わる情報は迅速に周知対応するように努めている。	・体制の見直しをし、保護者がより安心して意見を伝えられるようにしていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月、通信と予定表の配布をし、SNS(インスタ、Facebook)でも発信している。 ・子どもにも行事が分かりやすいよう、写真を用いたチラシを作って配布している。	・保護者だけではなく、子どもたちにも期待してもらえるような発信方法をさらに考えていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・書類は鍵の付いた書庫に保管し、SNSや通信の写真は、保護者の同意を得たうえでモザイクをかけている。	・職員間での確認体制を見直し、より安全性の高い管理体制を整えていきたい。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・視覚的支援など、分かりやすい伝え方の配慮をしている。	・子どもの特性に合った、より多様な伝え方の工夫を進めていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	・近くの障害者施設さんの行事に参加してもらうことはあるが、地域住民を招待することは現在できていない。	・地域住民を招待する行事や地域に開かれた事業運営は、今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルを策定し、ファイリングしたものを玄関に設置し、誰でも自由に見られるようにしている。	・各種マニュアルの内容をより実践に即したものに更新し、職員全体で共有する研修機会を増やしていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・業務継続計画(BCP)を策定し、ファイリングしたものを玄関に設置し、誰でも自由に見られるようにしている。また、毎月火災、地震、水害の避難訓練を行事予定に組み込んでいる。	・マニュアルの要点を現場で確認しやすい形に整理し、迅速な行動に繋げていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	・薬の服薬、てんかん発作などの有無は見学・契約時に確認している。また、予防接種を受けたときは、LINEや連絡帳等で伝えてもらっている。	・日々の変化も把握できるよう、職員間で共有方法をさらに整備していきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・医師より指示されている保護者より情報を頂き対応をしている。また、保護者との綿密な打ち合わせを通じて対応を考え、職員全員に分かるように掲示されている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成しており、研修にも参加している。	・職員への周知と、定期的な訓練の機会をしっかりと設けていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・毎月の通信やSNSに、取り組みや活動内容を載せて報告している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・事業所内だけでなく会社全体で共有している。また、毎月の職員会議でも取り上げて話し合いをし、再発防止策を検討している。	・検討内容をより体系的に残せる仕組み作りについて、今後検討していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・定期的に行われる社内での研修に参加している。また、全職員に対してのアンケートも毎月行っている。	・日々の支援場面での気づきを共有する機会をさらに増やし、職員全体で理解を深めたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・運営規定に記載しており、保護者には、契約時に必ず説明し了承を得ている。	・職員間で具体的な判断基準の共有をより丁寧にを行い、保護者への説明方法も分かりやすく工夫していきたい。	